

(様式第11)

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
日本股関節学会誌 34巻 Pages447-449(2008)	当院における人工股関節全置換術クリニカルパスの電子化と現状.	川路 博之	整形外科
日本股関節学会誌 34巻 Pages287-289(2008)	Small femurに対してCPTシステムを使用した人工股関節置換術の短期成績.	大楽 勝之	整形外科
日本股関節学会誌 34巻 Pages667-669(2008)	人工股関節置換術前後の可溶性フィブリン複合体とD-ダイマーの経時的変化.	大楽 勝之	整形外科
日本人工関節学会誌 38巻 Pages 616-617(2008)	セラミックス対セラミックス使用人工股関節システム破損例の検討.	浦山 安広	整形外科
関節の外科 35巻 Pages19-23(2008)	高度内反変形を伴う関節リウマチによる足関節障害に対して逆行性髄内釘関節固定術で対応した1例.	高窪 祐弥	整形外科
日本人工関節学会誌 38巻 Pages602-603(2008)	セメントレスカップ使用人工股関節置換術における臼蓋外上方部骨移植術の検討.	高窪 祐弥	整形外科
日本関節病学会誌 27巻 Pages153-161(2008)	リウマチ性疾患における前足部免荷装具により早期荷重が可能であった前足部矯正術の短中期成績.	高窪 祐弥	整形外科
日本人工関節学会誌 38巻 Pages72-73(2008)	人工関節周囲組織における免疫担当細胞の検討.	平山 朋幸	整形外科
日本人工関節学会誌 38巻 Pages580-581(2008)	精神疾患を有したTHA適応患者の周術期合併症の検討.	大木 弘治	整形外科
Fetal diagnosis and therapy 2008;24(4):420-424	Prenatal diagnosis of thanatophoric dysplasia by 3-D helical computed tomography and genetic analysis.	Tsutsumi S	産科婦人科
Journal of Endocrinology 2008;199(2):267-273	Differential regulation of the inducible nitric oxide synthase gene by estrogen receptors 1 and 2.	Tsutsumi S	産科婦人科
Molecular Cancer Therapeutics 2008;7(6):1551-1561	Fasudil-induced hypoxia-inducible factor-1 α degradation disrupts a hypoxia-driven vascular endothelial growth factor autocrine mechanism in endothelial cells.	Takata K	産科婦人科

小計:12

(様式第11)

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Oncology Reports 2008;19(6):1551-1556	A phase II multicenter trial of concurrent chemoradiotherapy with weekly nedaplatin in advanced uterine cervical carcinoma: Tohoku Gynecologic Cancer Unit Study.	Yokoyama Y	産科婦人科
American Journal of Perinatology 2008;25(1):33-36	A case of retroperitoneal ectopic pregnancy following IVF-ET in a patient with previous bilateral salpingectomy.	Iwama H	産科婦人科
日本産科婦人科内視鏡学会雑誌 2008;24(2):341-344	術前診断後、腹腔鏡下に摘出し得た副角妊娠(9週)の1症例.	堤 誠司	産科婦人科
Diabetes, Obesity and Metabolism 2008;10(6):514-515 [letter].	Impaired glucose tolerance, but not impaired fasting glucose, is associated with retinopathy in Japanese population: the Funagata Study.	川崎 良	眼科学講座
Ophthalmology 2008;115(5):817-818 [letter]	Body mass index and retinal vein occlusion.	川崎 良	眼科学講座
British Journal of Ophthalmology 2008;92(10):1320-1324	Racial difference in the prevalence of epiretinal membrane between Caucasians and Asians.	川崎 良	眼科学講座
Eye 2009;23(5):1045-51.	Prevalence and associations of epiretinal membranes in an adult Japanese population: the Funagata study	川崎 良	眼科学講座
Ophthalmology 2008; 115(10): 1735-1741	Prevalence of age-related macular degeneration in a Malay population: the Singapore Malay Eye Study.	川崎 良	眼科学講座
7th International Symposium on Ocular Pharmacology and Therapeutics (Proceedings) 2008;149-152	Effects of intravitreal bevacizumab on neovascular glaucoma.	桐井 枝里子	眼科学講座
臨床眼科 2008;62(8):1339-1341	塩酸レボブノロールの点眼回数切り替えによる眼圧下降効果の検討.	永沢 倫	眼科学講座
臨床眼科 2008;62(9):1467-1471	悪性腫瘍随伴網膜症と診断された網脈絡膜病変の1例.	田邊 智子	眼科学講座
臨床眼科 2008;62(9):1535-1538	ステロイド緑内障に対する選択的レーザー線維柱帯形成術の術後成績.	田邊 祐資	眼科学講座

小計:12

(様式第11)

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
臨床眼科 2008;62(5):1159-1166	糖尿病黄斑浮腫に対する硝子体手術後に直接の眼科治療によらず黄斑浮腫が変動した2例.	中野 早紀子	眼科学講座
臨床眼科 2008;62(9):1557-1562	ポリープ状脈絡膜血管症における自然経過および光線力学療法後の予後の検討.	羽根田 思音	眼科学講座
あたらしい眼科 2008;25(8):1157-1161	増殖糖尿病網膜症患者の硝子体手術における抗凝固療法の術後合併症発生への影響.	松下 知弘	眼科学講座
Aerobiologia 2008; 24: 53-59	Development of electron spin resonance radical immunoassay for measurement of airborne orchard grass (<i>Dactylis glomerata</i>) pollen antigens.	太田 伸男	耳鼻咽喉科
Ear and Hearing 2008 Oct;29(5):667-73.	Transmission pathways of vibratory stimulation as measured by subjective thresholds and DPOAEs.	渡辺 知緒	耳鼻咽喉科
頭頸部癌 34巻4号 Page600-605 (2008.12)	涙囊・眼瞼悪性腫瘍に対する集学的治療	小池 修治	耳鼻咽喉科
耳鼻咽喉科免疫アレルギー 26巻1号 Page17-21(2008.03)	耳介血腫に対するOK-432局所注入療法の効果	太田 伸男	耳鼻咽喉科
耳鼻咽喉科・頭頸部外科 80巻11号 Page763-773 (2008.10)	聴性定常反応 -臨床応用の現状と将来-	青柳 優	耳鼻咽喉科
Equilibrium Research 67巻1号 Page51-57	磁気刺激による末梢性顔面神経麻痺の診断	青柳 優	耳鼻咽喉科
European urology 2009 Jan 3.	Prognosis of Japanese Metastatic Renal Cell Carcinoma Patients in the Cytokine Era: A Cooperative Group Report of 1463 Patients.	内藤 整	泌尿器科
Anaesthesia and intensive care. 2008 ;36(4):621-622.	Detachment of Vital Signs Non-latex Breathing Bags 3L during manual ventilation.	Yokoo N	麻酔科
British journal of anaesthesia. 2008 ;101(1):127-128.	Acute withdrawal syndrome in a butorphanol-treated patient: an adverse combination of opioids.	Yokoo N	麻酔科

小計: 12

(様式第11)

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Journal of anesthesia. 2008;22:197-198.	Intercostal bleeding that developed during thoracic epidural catheterization.	Yokoo N	麻酔科
Anesthesiology. 2008 ;108:763-764.	Backup failure of an adjuvant battery in an Evita 4 ventilator.	Yokoo N	麻酔科
麻酔. 2008;57:76-81	重症心身障害児の麻酔における気道・呼吸器合併症の検討	岡田 真行	麻酔科
日本集中治療医学会雑誌. 2008;15:103-116	危機管理委員会・看護部会合同調査報告 ICUにおけるヒヤリ・ハット事例に関するアンケート調査	川前 金幸	麻酔科
麻酔. 2008;57:1233-1236	レミフェンタニル投与下にトラキライト®を使用した意識下気管挿管の試み	横尾 倫子	麻酔科
日本救急医学会雑誌. 2008;19:486	急性呼吸不全に対する診断, 治療の現況と展望 東北地方における急性肺障害調査報告	川前 金幸	麻酔科
Yamagata medical journal. 2009;27:41-50	Effects of arterial carbon dioxide manipulation on cerebral oxidative metabolism during hemorrhagic hypotension in dogs.	Oda S	麻酔科
日本顎関節学会雑誌 2008年4月20巻1号	顎関節症治療の中断と治療期間の長期化にかかわる因子に関する予備的検討.	濱本 宜興	歯科口腔外科
日本歯科医師会雑誌. 2008年11月61巻8号	脳卒中患者への支援—地域連携クリティカルパスと歯科医療—.	濱本 宜興	歯科口腔外科
日本外傷歯学会雑誌. 2008年12月4巻1号	移植歯および受容部の条件が共に不良な自家歯牙移植症例の検討.	濱本 宜興	歯科口腔外科
山形大学紀要(医学) 2009年2月27巻1号	山形大学医学部附属病院歯科口腔外科における周術期紹介患者に関する検討.	高橋 雪絵	歯科口腔外科
山形大学紀要(医学) 2009年2月27巻1号	当科におけるビスフォスフォネート投与患者の受診状況と抜歯後治癒不全に関する研究	菊地 大樹	歯科口腔外科

小計: 12

(様式第11)

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
麻酔 57巻5号(2008.05)	Pulse CO-Oximetryの使用経験	永野 達也	救急科
日本救急医学会雑誌 19巻4号(2008.04)	剖検により判明した心サルコイドーシスの1例	大瀧 恵	救急科
中毒研究 21巻4号(2008.10)	急性中毒の拮抗薬 最近の話題 フルマゼニル	伊関 憲	救急科
中毒研究 21巻2号(2008.04)	コリンエステラーゼ阻害剤の中毒 有機リン中毒の治療法 とくに拮抗薬について	伊関 憲	救急科
脳神経外科 (Neurological Surgery) 2008年8月 36巻8号 Page693-700	覚醒下手術時の言語野マッピングにおける陰性運動反応の特徴と意義	鈴木 匡子	高次脳機能障害科
臨床神経学 2009年3月 49巻2-3 Page83-89	高次脳機能障害の診方	鈴木 匡子	高次脳機能障害科
日本股関節学会誌 34巻 Pages314-317(2008)	関節リウマチ股関節障害の病態と機能再建.	高木 理彰	リハビリテーション部
日本人工関節学会誌 38巻 Pages306-307(2008)	人工股関節施行リウマチ性白蓋病変におけるステロイド使用の影響.	高木 理彰	リハビリテーション部
整形・災害外科 51巻 Pages 1638-1639(2008)	人工股関節周囲微小環境における生体反応-Toll-like receptor (TLR)の組織局在,発現.	高木 理彰	リハビリテーション部
東北整形災害外科学科雑誌 52巻Pages42-45(2008)	人工股関節全置換術後における重心動揺計による評価.	小林 真司	リハビリテーション部
日本股関節学会誌 34巻 Pages440-442(2008)	人工股関節全置換術における術後鎮痛法の検討.	小林 真司	リハビリテーション部
整形外科看護 13巻 Pages580-587(2008)	見てわかるベッド上リハビリテーション.	小林 真司	リハビリテーション部

小計: 12

(様式第11)

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
整形外科看護 13巻 Pages546-552(2009)	早期離床のために術前訓練はなぜ必要か.	小林 真司	リハビリテーション部
臨床整形外科 43巻 Pages333-338(2008)	進行期・末期変形性股関節症に対する外反骨切り術の長期成績.	佐々木 幹	リハビリテーション部
Virchows Archiv : an international journal of pathology. 2008; 452(4):377-382.	Frequent epigenetic silencing of the FHIT gene in penile squamous cell carcinomas.	Motoyama T	病理部
Pathology international. 2008; 58(8):477-482.	Detection of HPV-DNA, p53 alterations, and methylation in penile squamous cell carcinoma in Japanese men.	Motoyama T	病理部
Virchows Archiv : an international journal of pathology. 2008; 452(2):175-180.	Hypomethylation of hepatocyte nuclear factor-1beta (HNF-1beta) CpG island in clear cell carcinoma of the ovary.	Kato N	病理部
Histopathology. 2008;52(6):682-688.	Overexpression of osteopontin in clear cell carcinoma of the ovary: close association with HNF-1beta expression.	Kato N	病理部
日本環境感染学会誌 2008年5月 Vol.23, No.2 :124-128	0.5w/v%グルコン酸クロルヘキシジンエタノールローションおよび4w/v%グルコン酸クロルヘキシジンスクラブの手指消毒効果および経済効果の比較	白石 正	薬剤部
医薬品相互作用研究 2008年7月 Vol.32, No.1:27-31	Clinical Studies on Plasma Concentrations of Acyclovir Treated in Transplant Patients.	Toyoguchi T	薬剤部
TDM研究 2008年10月 Vol.25, No.4:187-190.	臍帯血中薬物濃度による妊婦薬物療法の胎児への影響の検討	豊口 禎子	薬剤部
医療薬学 2008年11月 Vol.34, No.11:1037-1041	授乳婦の薬物療法時における乳児への影響	豊口 禎子	薬剤部
医薬品相互作用研究 2008年12月 Vol.32, No.2:13-16	薬剤部内に設置した相互作用チェックシステムによるリスク回避効果	志田 敏宏	薬剤部
医薬品相互作用研究 2008年12月 Vol.32, No.2:27-30	アミオダロンによるワルファリンカリウムの抗凝固作用への影響と薬学的指導	小嶋 文良	薬剤部

小計: 12

合計: 143

(様式第12)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	病院長 山下 英俊
管理担当者氏名	薬剤部長 白石 正, 総務ユニット長 長井 孝行, 医事ユニット長 田中 清, 診療報酬ユニット長 佐藤 祐司

		保管場所	分類方法
診療に関する諸記録			カルテ等病歴資料は、 外来入院別に1患者1 ファイル方式とし、エ ックス線写真は1患者 1資料袋方式で、共に コンピュータによる集 中管理を行っている。
病院日誌		総務ユニット	
各科診療日誌		各診療科	
処方せん		薬剤部	
手術記録, 看護記録, 検査所見記録, エックス線写真, 紹介状, 退院した 患者に係る入院期間中の診療経過の要約		医療情報部 (診療記録室)	
病院の 管 理 及 び 運 営 に 関 する 諸 記 録	従業者数を明らかにする帳簿	総務ユニット	
	高度の医療の提供の実績	診療報酬ユニット	
	高度の医療技術の開発及び評価の 実績	診療報酬ユニット	
	高度の医療の研修の実績	総務ユニット	
	閲覧実績	総務ユニット	
	紹介患者に対する医療提供の実績	診療報酬ユニット	
	入院患者数, 外来患者数及び調剤 の数を明らかにする帳簿	診療報酬ユニット, 薬剤部	
	掲規 げ則 る第 体9 制条 確の 保2 の3 状 況第 1 1 条 各 号 に	専任の医療に係る安全管理を 行う者の配置状況	医事ユニット
		専任の院内感染対策を行う者 の配置状況	総務ユニット
		医療に係る安全管理を行う部 門の設置状況	医事ユニット
		当該病院内に患者からの相談に 適切に応じる体制の確保状況	医事ユニット
		医療に係る安全管理のための 指針の整備状況	医事ユニット
		医療に係る安全管理のための 委員会の開催状況	医事ユニット
		医療に係る安全管理のための 職員研修の実施状況	総務ユニット
		医療機関内の事故報告等の医 療に係る安全の確保を目的と した改善のための方策の状況	医事ユニット

		保管場所	分類方法
病院の 管 理 及 び 運 営 に 関 する 諸 記 録	規 則 第 1 条 の 1 1 各 号 に 掲 げ る 体 制 確 保 の 状 況	院内感染のための指針の策定 状況	総務ユニット
		院内感染対策のための委員会の 開催状況	総務ユニット
		従業者に対する院内感染対策 のための研修の実施状況	総務ユニット
		感染症の発生状況の報告その 他の院内感染対策の推進を目的 とした改善のための方策の実施 状況	総務ユニット
		医薬品の使用に係る安全な管 理のための責任者の配置状況	薬剤部
		従業者に対する医薬品の安全 使用のための研修の実施状況	薬剤部
		医薬品の安全使用のための業 務に関する手順書の作成及び当 該手順書に基づく業務の実施状 況	薬剤部
		医薬品の安全使用のために必 要となる情報の収集その他の医 薬品の安全使用を目的とした改 善のための方策の実施状況	薬剤部
		医療機器の安全使用のための 責任者の配置状況	総務ユニット
		従業者に対する医療機器の安 全使用のための研修の実施状況	MEセンター
		医療機器の保守点検に関する 計画の策定及び保守点検の実施 状況	MEセンター
医療機器の安全使用のために 必要となる情報の収集その他の 医療機器の安全使用を目的と した改善のための方策の実施状況	MEセンター		

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、
全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式第13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び紹介患者に対する医療提供の実績

○ 病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者氏名	病院長 山下 英俊
閲覧担当者氏名	総務ユニット長 長井 孝行
閲覧の求めに応じる場所	管理棟 第二会議室

○ 病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	0	件	
閲覧者別	医師	延	0	件
	歯科医師	延	0	件
	国	延	0	件
	地方公共団体	延	0	件

○ 紹介患者に対する医療提供の実績

紹介率	71.9%	算定期間	平成20年4月1日～平成21年3月31日
算出根拠	A: 紹介患者の数	7,922人	
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数	7,104人	
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数	1,136人	
	D: 初診の患者の数	15,382人	

(注) 1 「紹介率」欄は、A、B、Cの和をBとDの和で除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

2 A、B、C、Dは、それぞれの延数を記入すること。

(様式13-2)

規則第9条の23及び第11条各号に掲げる体制の確保状況

① 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	有 (2名)・無
② 専任の院内感染対策を行う者の設置状況	有 (2名)・無
③ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	有・無
<ul style="list-style-type: none">・ 所属職員： 専任 (2) 名 兼任 (1 2) 名・ 活動の主な内容：<ol style="list-style-type: none">(1) 医療事故等防止対策委員会の庶務に関すること。(2) インシデント報告の分析及び医療事故防止対策の策定に関すること。(3) 安全管理のための研修，啓発普及，教育等の企画立案及び実施に関すること。(4) 医療事故防止対策の監査・指導に関すること。(5) リスクマネージャー及びサブリスクマネージャーとの連絡調整に関すること。(6) その他医療事故防止対策に関すること。	
④ 当該病院内に患者からの安全に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	有・無
⑤ 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有・無
<ul style="list-style-type: none">・ 指針の主な内容：<ol style="list-style-type: none">(1) 患者に対する十分なインフォームド・コンセントに基づいて「患者と医療従事者との良好な信頼関係を樹立」し，患者本位の全人的かつ安全な医療を提供する。また，医療に係る苦情，相談についても，適切に対応する。(2) 医療における基本の徹底およびその質の向上を図るとともに，全ての医療従事者に「医療過誤は絶対に起こさない」という意識改革および啓発を図るため，教育・研修および講演会を定期的を開催する。(3) 医療従事者自らが，医療行為の基本的事項を日々点検・確認し，アクシデント又はインシデント事例が発生した場合は直ちに所属リスクマネージャーに報告するとともに，患者及び関係者に説明のうえ適切に対処し，アクシデント内容等の調査・検討及び再発の防止対策を速やかに講ずる。(4) 医療事故を未然に防止するための組織および体制の整備を図る。(5) 本指針は，患者およびその家族等へ掲示等により周知させるものとする。	
⑥ 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年12回
<ul style="list-style-type: none">・ 活動の主な内容：<ol style="list-style-type: none">(1) 安全管理の指針に関すること。(2) 医療事故防止の体制に関すること。(3) 医療事故防止に関する啓発及び普及並びに研修に関すること。(4) 医療事故防止に係る院内体制に関すること。(5) 医療事故防止に係る調査及び対応策に関すること。(6) その他医療事故に関する必要な事項	

⑦ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 10 回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の主な内容 <ol style="list-style-type: none"> (1) 「医療におけるリスクマネジメント」 (2) 「医療安全の取り組み PDCAサイクルの実践」 (3) 「医療ADRと院内メディエーション」 (4) 「がんの診療体制」 (5) 「院内感染対策」 	
⑧ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療機関内における事故報告等の整備 (有)・無 ・ その他の改善のための方策の主な内容： <ol style="list-style-type: none"> (1) 医療従事者は、本院において医療事故が発生した場合、サブリスクマネージャーに直ぐ報告する。 (2) サブリスクマネージャーは、医療事故のときは医療事故報告書、インシデントのときはインシデント報告書により、リスクマネージャーに報告する。 (3) リスクマネージャーは、サブリスクマネージャーからの報告内容を確認し、報告書により、医療安全管理部（医事課）を通じて24時間以内に報告する。 (4) 病院長は報告内容を確認し、医療事故等防止対策委員会で審議させる。 なお、事実調査等が必要な場合は、専門委員会を設置する。 	

院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	①・無
<ul style="list-style-type: none"> ・ 指針の主な内容： <ol style="list-style-type: none"> (1) 院内感染対策のための委員会規程・感染制御部規程 (2) 病院感染対策ガイドライン(標準予防策・感染経路別予防策・消毒法・病原体別の対策等) (3) 感染症発生状況の報告と対策(アウトブレイク時の連絡体制) (4) 感染症法の改訂 (5) 病院環境整備 (6) 感染性廃棄物について 	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年 11 回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 活動の主な内容： <ol style="list-style-type: none"> (1) 感染の予防対策の実施及び指導に関すること (2) 感染発生時の処置に関すること (3) その他感染対策に関すること 	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 2 回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の主な内容： <ol style="list-style-type: none"> (1) 「結核に関する講演会」(10月) (2) 「インフルエンザに関する講演会」(2月) 	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 病院における発生状況の報告等の整備 (①・無) ・ その他の改善のための方策の主な内容： <ol style="list-style-type: none"> (1) 院内の感染状況のサーベイランスを実施し、感染対策委員会・感染制御部会議で報告。組織的に改善が必要な場合には検討を行う。 (2) 感染対策に関しては、毎週1回感染制御部委員が巡回し現場指導を実施し、感染対策委員会に報告。 	

医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	①・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 2 回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の主な内容： 平成 21 年度新採用職員研修(平成 21 年 4 月 2 日) PDCA事例発表会 	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 手順書の作成 (①・無) ・ 業務の主な内容： <ol style="list-style-type: none"> (1) 医薬品の購入管理 (2) 調剤室での医薬品管理 (3) 病棟・各部門への医薬品の供給管理 (4) 外来・入院患者への医薬品使用 (5) 麻薬の管理 (6) 院内製剤の安全管理 	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 医薬品に係る情報の収集の整備 (①・無) ・ その他の改善のための方策の主な内容： <ol style="list-style-type: none"> (1) 厚生労働省からの副作用情報 (2) 採用医薬品の一増一減徹底 (3) 危険薬のリスト作成、病棟への配布 (4) 最大投与量のチェックシステム構築 	

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	①・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年 4 回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> (1) シリンジポンプ・輸液ポンプ及び人工呼吸器の取扱いについて (2) 重症監視モニター・抵圧持続吸引器・除細動器及びSCDの取扱いについて (3) 電気メス及び鏡視下手術装置の研修会 	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 計画の策定 (①・無) ・ 保守点検の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> ○ 人工心肺装置，人工透析装置，人工呼吸器，電気メス，除細動器，閉鎖式保育器，高気圧酸素装置に対するチェックリスト及びテスター等の測定器による保守点検 	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療機器に係る情報の収集の整備 (①・無) ・ その他の改善のための方策の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> ○ メーカー等から提供された安全性情報を、必要に応じて医療機器に文書として添付 	